紀の川市
自治区加入促進マニュアル

― いきいきと力をあわせたまちづくり ―

平成２９年４月

紀の川市自治連絡協議会

紀の川市

はじめに

自治区は、隣近所に住む人々がふれあいを深め、話し合い、助け合うために、自主的に運営される住民自治組織で、地域の諸課題を解決し、安全・安心な暮らしやすい地域社会を築くための重要な役割を担う団体であり、過去の大災害を踏まえ、誰もが「地域のきずな」の重要性を認識していることと思います。

しかし近年、地域コミュニティを取り巻く社会情勢や環境も変化し、住民の価値観の多様化、地域に対する関心の希薄化など、自治区活動への参加を敬遠される世帯が増えています。紀の川市においても、5町合併の翌年平成18年4月に87.3％であった自治区加入率は、平成28年4月には78.0％にまで減少し、今後もさらに低下することが懸念されます。

このような状況に歯止めをかけようと、加入の呼びかけや加入しやすい環境づくりを行っている自治区もありますが、加入の必要性やメリットを理解してもらえないことや、呼びかけの方法や手段が十分でないため、なかなかうまくいかず苦慮しているとの声を聞いています。

紀の川市自治連絡協議会ではこれらを大きな課題としてとらえ、市との協働によりアンケート調査や先進地視察を行い、自治区加入率向上に向けての対策について検討し、取り組みを行っているところです。

この『自治区加入促進マニュアル』は、その取り組みの中で、現在の自治区が抱える大きな課題である未加入問題に役立つよう、自治区長の皆様からのご意見を参考にして作成いたしました。

同じ地域に生活する地域社会の一員として、自治区を理解し協力していただけるよう、転入・転居世帯や未加入世帯へのご説明の際に活用いただければ幸いです。

平成29年４月

紀の川市自治連絡協議会

紀の川市

目　次

なぜ加入促進なの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

自治区の役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

自治区加入促進の進め方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

加入促進・脱退防止の工夫・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

加入促進の成功事例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

加入に関わる想定問答・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

自治区加入勧誘チラシ　（見本）・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

なぜ加入促進なの

◆自治区への加入率低下

紀の川市の自治区への加入率は、市町村合併当時（平成 18 年）には 87.3%でしたが、直近の平成 28 年には 78.0%まで低下しています。

加入率が減少してきた要因は、次のようなことが考えられます。

・社会情勢や環境の変化 **（共有する価値観からの遊離）**

・都市化の進展による価値観の多様化やライフスタイルの変化 **（希薄な近所づきあい）**

・集合住宅建設などによる住宅特性の変化 **（地域に無関心・地域との距離）**

・高齢化の進行 **（担い手不足・地域活動の衰退）**

また、自治区は任意団体であり、加入義務はなく、加入を強制することはできません。そのため、あくまでも本人の自発的な加入意思を尊重する以外ありません。

◆市民意識調査から見えてくる自治区に加入しない理由

平成 28 年 7 月～8 月に実施した紀の川市市民意識調査では、自治区に加入している方が 84.0%、加入していない方が 6.4%でした。

自治区に加入していない理由は、次のような回答（複数回答可）をいただきました。

・「忙しくて活動に参加できない」　：**４０．０%**

・「必要を感じられない」　：**３０．０%**

・「活動内容がわからない」　：**１６．７%**

・「活動内容に興味がない」　：**１６．７%**

・「加入方法がわからない」　：**１３．３%**

・「会費が高い」　：**８．３%**

・「その他」　：**２６．７%**

（内容）加入金が高い。
自治区がない。
自治区があるかどうかわからない。
団地全体で加入していない。
新しくできた住宅地の皆で決めた。　など

◆地域社会は住民相互で協力し合うもの

地域社会は、その地域で暮らす住民全体によって形成され、より良い地域社会にしていくためには相互で協力し合っていくことが大切です。そのためには、その地域で暮らす人ができるだけ多く参加する必要があります。

地域社会には、個人として解決できない様々な問題が発生します。交通安全・環境保全・防災・防犯・高齢者保護・・・等々地域ぐるみで対応していかなければなりません。

自治区は、そのまとめ役として、加入促進に努めることが求められます。

自治区の役割

昔の地域社会は、お互いが寄り添って暮らすという意識が強く、近所づきあいが盛んで、人々は深くつながっていました。しかしながら、経済成長とあいまって人々の暮らし方が多様化し、地域社会の基盤が不確かになってきている中で自治区の役割が重要になってきます。

◆自治区はこのような役割を担っています

① 自治機能

地域住民のニーズを汲み上げ、暮らしやすい地域社会を実現するために、地域で抱える課題・問題を住民自身によって解決するためのまとめ役になること。

② 親睦機能

地域住民同士の親睦・交流を図り相互のつながりを深めるための様々なイベントの実施など。

③ 安全･安心機能

防災訓練、防災用品備蓄などの防災対策、災害時に備えた災害時要援護者の避難支援体制づくり、防犯パトロール、防犯灯管理など、地域の安全・安心を守る活動。

④ 生活環境保全機能

ごみ集積所の管理や不法投棄など暮らしの衛生・美化など環境整備を保つ活動。

⑤ 相互扶助機能

近隣の独居高齢者や高齢者夫婦世帯の見守り・生活支援などの仕組みづくり。広くは赤十字募金、社会福祉協議会への協力など。

⑥ 情報伝達機能

回覧板の回覧や市からの行政情報、地域の情報伝達など。

⑦ 生涯学習機能

趣味・健康などに関わる様々な学習機会を設ける活動。

⑧ 伝統･文化伝承機能

地域固有の伝統・文化を保護伝承する活動。

これまでにもこれらの機能を様々に担ってきましたが、更なる充実が求められています。

◆自治区に求められる役割

防災などは個人の力だけでは解決できず、地域総ぐるみで対応しなければなりません。そのためには地域住民全員で結束する必要があります。

＜自主防災組織について＞

自治区などの組織を基本として、市民が自主的にその地域の防災対策確立のために組織する団体です。災害発生時のための連絡網の整備や防災訓練などを行い、災害時の被害をできるだけ軽減できるよう日頃からさまざまな取り組みを行っています。

■大震災時に活躍した自治区の事例

★阪神・淡路大震災

1995 年 1 月に発生した阪神・淡路大震災の折、地震によって倒壊した建物から救出された人の約 8 割は、家族や自治区を中心とする近隣住民によって救われ、消防、警察、自衛隊によって救出された人は、約 2 割でした。

また、建物倒壊と同時に発生した火災の消火に、消防車の救援を待つ余裕もなく、地元住民が消火用水をバケツリレーで対応し、その活躍で救出された人もいます。

★東日本大震災

2011 年に発生した東日本大震災では、自治体職員などのほか、自治区の人や自主防災会の人たちが、避難誘導をしたり、避難所生活では、自治区、自主防災会のリーダーたちが、自ら被災したにもかかわらず情報収集にあたり、避難者名簿の作成や必要物資の聞き取り調査を行い、災害対策本部に情報提供をしたこと、高齢者の安否確認を行ったことなどが賞賛されています。

また、被害の少なかった周辺の自治区や地域団体などからの炊き出しは、救援物資が到着するまでの間の救助活動として有効でした。

自治区加入促進の進め方

◆加入メリットを未加入世帯へ説明

訪問時、自治区に加入することのメリットをわかりやすく説明しましょう。

■**つながりが増える：**災害や火災の発生など、いざという時に近所とのつながりは、とても大切であること。

■**様々な情報の入手：**市からの行政情報や回覧板による情報連絡、その他お知らせや日々の暮らしに必要な情報が入手できること。

■**安心した暮らし：** 防災・防犯や地域の中の共通した問題を解決する取り組みによって、安心した暮らしが送れること。

■**より良い地域環境での暮らし：**地域の清掃活動や環境美化、ごみ集積所の共同利用などによって、より良い地域環境の中で生活できること。

◆役員の共通認識の必要性

外に呼びかけるには、まず内部の意思統一を図っていかなければなりません。

自治区の役割について、役員全員が共通認識を持つことは非常に重要です。

◆自治区活動の紹介

未加入世帯にも、自治区活動の内容を知らせることは自治区活動を理解してもらう上で、大変重要です。そのために、イベントの案内や、写真等を多用したわかりやすい会報などを積極的に配布して、自治区活動を紹介しましょう。

◆高齢者世帯の加入も大切

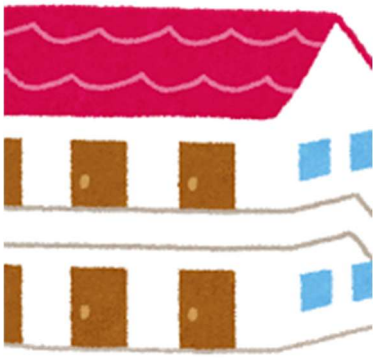
■**高齢者のひとり暮らしや高齢者夫婦世帯へは：**体力面等の問題により自治区活動への参加が難しく、脱退の申し出がある場合も少なくありません。このような人たちにも自治区でフォロー（行事への参加免除等）し、脱退対策を行うことが大切です。

■**自治区加入で近隣とのつながりを：**市の広報や会報の配布、回覧板の回覧などで安否確認につなげることが出来ます。また、老人クラブへの加入を勧めるなど閉じこもりにならないようにすることが大切です。

■**災害時要援護者の把握など生活状況の把握：**高齢者を見守ることも地域の役割です。区民を継続してもらうことで近隣とのつながりが断ち切られないようにしていきましょう。

◆アパート・マンション居住者へのアプローチ

アパートやマンションの居住者には自治区への関心が低い人もいます。同じ地域に生活される方々になりますので、加入への呼びかけが必要です。



■**管理人やオーナー、管理組合への協力依頼：**協力依頼の方法には、家賃や管理費に自治区費を含めて、アパートごと、マンションごと入区の形を取っている例もあります。

■**不動産業者への協力依頼：**不動産業者に、住宅の販売や賃貸の管理・仲介等を行おうとする場合、その世帯に対し自治区等への加入を勧める協力を依頼するなどの方法もあります。

■**アパート･マンション居住者向けの資料を作成：**比較的若い世帯が入居するアパートやマンションには、それにふさわしい資料を作成することも大切です。
自らが居住する地域社会で、自治区が重要な役割を担う存在であることを理解してもらえれば、加入につながっていきます。

■**加入後のフォローも大切に：**アパートごと、マンションごとに入区してもらった場合などでも、自治区の活動やイベントを知らせる会報や回覧（アパートやマンションは回覧が回りにくいので、各戸配布がお勧めです）などをこまめに行うことも大切です。常に区民であることを自覚してもらい、イベントなどには積極的に参加の呼びかけをします。会費を負担してもらっているのですから、年度の会計報告なども確実に伝達することが大切です。

加入促進・脱退防止の工夫

平成２８年度において、紀の川市全区長に対し『自治区の加入促進の取り組み等に関するアンケート』を実施し、その回答内容を記載しています。

◆加入呼びかけの手順

- 未加入世帯の把握、調査を行なっている。
- 区長と役員の連絡を密にし、情報を共有するようにしている。
- 訪問時の説明資料（規約等）を用意している。
- 自治区長や役員が訪問している。

◆参加のきっかけとなるイベント

- イベント等を未加入者にも呼びかけている。
- イベント等に出来るだけ参加してもらいコミュニケーションを図っている。
- 未加入者の隣近所に依頼し、出来るだけ交流するようにし、地域の集まりにいつも誘っている。
- 地域環境美化や保全の意義を訴え、共同作業や祭りへの参加を呼びかけている。

◆加入金・区費・行事参加の免除制度

- 高齢者、身体障害者、生活保護家庭、母子（父子）家庭、単身世帯（年齢制限・女性）等に対し、自治区加入金・区費の免除・減免をしている。
- 自治区加入金の分割払い制度を設けている。
- 高齢者に対し行事参加の免除をしている。

◆その他の工夫

- 開発業者と建築主に対して協定書を作成し、入居者には必ず自治区への加入を促している。

加入促進の成功事例

加入の呼びかけは、単に呼びかけるだけでは、なかなか難しいのが実情です。未加入者も関心を抱くような実質的な活動を展開し、その活動への参加を求めながら並行して入区を促す方法が成功率を高めます。

◆マンション住民へ防災意識を利用した事例

★災害時の助け合いなどを説明し説得

マンションに居住している人たちは、地震によってドアが開かなくなったり、下の階での出火により逃げ場を失ってしまう危険性があります。このような事態に遭遇した場合、外部からの応援がなくては助かることができません。そのためには、日頃から自治区と親しくしておき、いざという時に救援してもらえるような関係をつくっておくことが大切です。

マンション居住者にこのような呼びかけをし、防災訓練に参加して関係を深めることにより自治区未加入のマンション住民が多数入区してくれたという事例があります。

★安否確認活動での事例

自治区によっては、地震発生時の安否確認訓練を実施しているところがあります。訓練当日、無事であることを示すために、家のドアにタオルなど所定の目印になるものを取り付けます。これを自治区の防災組織などのメンバーが確認してまわり、区民で目印を出していないお宅には声を掛けて安否確認を行います。

この訓練の様子を見て、それまで自治区に無関心だった人が、入区したいと申し出てもらえるようになった例があります。

このように実質的な活動を、見える形で実施することは、自治区の役割を理解してもらい、参加への必要性を再認識することにつながります。

◆地域住民がふれあえる定期イベントを開催し、加入者を増やした成功事例

★目的意識をもった定期イベントの実施事例

ある自治区では、顔の見える関係作りを推進するため、模擬店を中心とした地域の定期イベントを実施しています。

大掛かりなイベントのため、携わる人たちを限定せず、自治区とは別の実行委員会を立ち上げ、地域の住民が誰でも参加できる仕組みを作りました。

その結果、定期イベントを続ける中で、それまで未加入者であった人と地域住民との関係が深まり、より多くの人が入区してくれるようになりました。

また、この自治区では、お祭りの運営をオープンにするとともに、日頃の自治区活動についても、活動内容を会報として回覧しています。

このように開かれた運営をしていくことで、地域住民の一人ひとりに、この地域を背負っていくのは私たち自身だという意識を芽生えさせ、誰もが自発的に自治区へ参加するような仕組みとなっています。

加入に関わる想定問答

未加入世帯への訪問時、相手から質問をされることもあります。

簡潔にわかりやすく回答し、もし答えられない質問であれば、後日役員等で話し合って回答するなど、誠意を持って対応することにより信用が得られます。

今回、加入に関わる想定問答をいくつかご用意させていただきました。

自治区によって事情が異なる場合もありますが、一例として参考にしてください。

Q 自治区って加入しないといけないの？

回答例：自治区への加入は強制ではありません。しかし、防災や防犯、地域環境整備など、地域生活に密着した課題を個人で解決することは難しく、自治区の役割が必要となってきます。また加入することにより、地域とのつながり、市からの行政情報や、各種地域イベント等チラシの配布、回覧などで様々な情報を入手できるので、ぜひ地域の一員として加入してください。

Q 自治区とは何ですか？

回答例：同じ地域に住む人々がふれあいを深め、話し合いや助け合いで地域の諸課題を解決し、暮らしやすい地域社会を築くため、自主的に運営されている任意団体です。

Q 自治区は市の組織なの？

回答例：紀の川市とは相互協力関係にあるので、紀の川市の事業に協力して取り組むことはありますが、自治区は、地域住民が自主的に設立・運営している地縁団体ですので、市の組織ではありません。

Q 地域のことは市が行うべきでは？

回答例：市など行政はインフラ整備等を行っていますが、市民生活の細かなニーズ全てに対応する事は困難です。地域のことを行政にだけ任せるのではなく、行政と自治区で役割を分担し、課題に対し住民自らが行動することで、地域の実態に沿った解決方法を見つけることができると考えています。

Q 自治区費っていくらですか？また、どうやって使われているの？

回答例：自治区費は（月〇〇〇円）で、支払い方法は（年払い／月払い）となります。集められた自治区費については、予算・決算を作成し自治区総会で皆さまの承認を得た上で、防犯灯・集会所の維持管理、清掃活動やお祭り、こども会活動の支援、敬老会の実施など地域活動のために計画的に活用されます。

Q 自治区は会費だけで運営しているの？

回答例：自治区費以外にも、紀の川市から地域活動を支えるため、自治区運営に対し補助金が交付されています。また、自治区が必要とする集会所整備、防犯灯設置・取替、消防施設設置、ごみ集積所設置等に対しても、市から自治区へ補助金が交付されています。

Q 家族構成など、個人情報が漏れることが心配。どういう管理をしているの？

回答例：区民の皆さまから、連絡網や災害時の災害時要援護者などのため世帯構成・住所・連絡先など情報を提供していただいていますが、取り扱いについては、自治区長や役員によって適正に管理しています。

Q 忙しくて活動に参加できない。加入後、役員にならないといけませんか？

回答例：役員の選出については１年ごとの持ち回りなど、自治区の実態を説明し行っていますが、各家庭の事情は考慮しています。地域の一員として、つながりを持っていただけますようお願いします。

Q 住民票を動かさない仮住まいですが、加入したほうがいいですか？

回答例：自治区の加入に住民票の有無は問いません。
地域に住む住民として、自治区への加入をお願いします。

自治区加入勧誘チラシ（見本）　表

自治区へ加入しましょう！

－安心・安全な生活はご近所づきあいから－

自治区は、私たちの生活に最も身近な団体です。

自分達の住む地域をよりよくしていくためには、そこに住む人が地域のことを考え、お互いに協力していくことが大切です。

災害などの非常時･･･“もしも”という時には、ご近所や自治区での助け合いが多くの命を守り、困っている方への手助けとなります。私たちは阪神・淡路大震災や東日本大震災などの経験や報道から、普段のお付き合いの積み重ねが非常時の心強い支えとなることを学びました。

日頃は気にとめない自治区活動や、何となくわずらわしさを感じる近所づきあいは、自分には関係ないことだ、つきあいは面倒だと思われるかもしれませんが、日頃の近所づきあいは、私たちの生活に安全と安心を与えてくれます。

そして、この安全と安心は、地域の問題解決と住民の交流を育むことになります。

地域はあなたの力を必要としています。
ぜひ、この機会に自治区へ加入し、住みよいまちづくり活動にご協力ください。

紀の川市自治連絡協議会　・　紀の川市

住みよい豊かなまちを築くため

自治区ではこんな活動をしています

楽しい交流

みんながふれあい、顔見知りになれる楽しい地域活動

例　お祭り、運動会、スポーツ大会、サークル活動の協力　など

支えあい

子どもや高齢者、子育て世代など地域のみんなが支えあう活動

例　子ども会活動の支援、敬老会、独居高齢者の見守り　など

快適な生活

快適で美しいまちを維持するための清掃活動やごみ集積所の維持管理

例　クリーン作戦、ごみ集積所の維持管理、溝そうじ　など

安全・安心

火災・水害・地震などの非常時や防犯などの安全・安心を提供する活動

例　自主防災活動、防災訓練、防犯灯の維持管理　など

その他にも・・・・・・・

情報の提供や自治区費の運用、市への要望などの様々な活動

例　各種情報紙の回覧、集会所の維持管理、自治区から市への要望　など

自治区への加入については、地域の自治区に加入されている方や役員さんにお尋ねいただくか、下記までお問い合わせください。

≪お問い合わせ先≫

紀の川市役所 総務課（紀の川市自治連絡協議会事務局）　Tel 77-2511　Fax 77-4910

または　各支所

粉河支所	Tel 73-3311	Fax 73-6162	那賀支所	Tel 75-3111	Fax 75-3117
桃山支所	Tel 66-1100	Fax 66-1681	貴志川支所	Tel 64-2525	Fax 64-6599
鞆渕出張所	Tel 79-0001	Fax 79-0393			